

墨田区議会だより

第 28 号

発行 昭和56年10月20日
 発行所 墨田区議会事務局
 〒130 墨田区横綱一の6-1
 電話 626-3151(大代表)

第三回定例会

両国に待望の児童遊園ができる

補正予算に都交通局跡地の造成費

墨田区議会では、第三回定例会を去る九月十八日から三十日までの十三日間わたって開きました。今定例会では、四名の議員が、行政改革を中心とした一般質問を行ったほか、「心身障害者福祉手当条例」の一部改正など八件の議案と二件の決算、九件の請願・陳情を審議しました。そして、議案八件と請願三件を議決したほか、五十五年度一般会計、国民健康保険特別会計各歳入歳出決算を特別委員会を設置し、審査を付託しました。

本会議第一日の十八日には、自由民主党、公明党、日本共産党、新自由クラブの四党派から

それぞれ一名ずつの議員が出て一般質問を行いました。(二面参照) ここでは、「行政改革

に關連した墨田区の事務事業見直しについて」、「区内の河川での魚つり事故防止について」など区政に關連した様々な質問を行いました。そして、それぞれに対して、区長から答弁がありました。

また、昨年の議会で請願が採択され、地元の町会長からも強く要望されていた墨田五丁目遊び場造成費と、同じくこの三月議会で採択された請願の両国四丁目都交通局跡地に児童遊園を造成するための費用などを内容

五十五年度各会計決算提出される

特別委員会で審査

昭和五十五年度墨田区一般会計歳入歳出決算と国民健康保険特別会計歳入歳出決算が、今定例会最終日の九月三十日の本会議に、区長から提出されました。

この決算は、五十五年度の区の収入と支出の実績を示すもので、両方を比較することによって、区の財政運営がどうであったかを判断し、今後の財政計画の資料ともなる重要なものです。

区議会では、これらを閉会中も継続して審査することとし、二十名の委員から成る決算特別委員会を設置、十月二十六日か

とした「一般会計補正予算」など七件の議案を、また、住民のみなさんから区議会に提出のあった「学童保育クラブの設置等に関する請願」など七件の請願に關する請願をそれぞれ所管の常任委員会に審査を付託しました。

本会議は、十九日から二十九日まで休会に入りました。そして、この間に、総務委員会など四つの常任委員会を開いて、十八日の本会議で付託された議案など、それぞれ所管の事項について審査を行いました。

最終日の三十日には、二日目の本会議を開き、各常任委員会に審議した議案七件を委員会審

学童保育クラブの設置を

請願・陳情の審査結果

今回の定例会では、みなさんから出された九件の請願・陳情を委員会に審査しました。その内、去年の第三回定例会から継続審査になっていた「立花地区への大型店舗進出反対に関する請願」など三件について結論を出し、「記帳義務法制化反対に関する請願」など六件は、今回結論が出ず、継続審査となり、三十日の本会議で審査報告通り決定しました。

◎ 採択としたもの

◇学童保育クラブの設置等に関する請願

◇採択としたもの

◇立花地区への大型店舗進出反対に関する請願

◇不採択としたもの

◎ 委員長 ○ 副委員長

- ◎ 柴田 来治 ○ 牛山れい子
- 加藤 耕造 足達 寿一
- 佐藤 四郎 渡辺 良
- 早川 幸一 原田 裕
- 大和久常雄 蘭田 隆明
- 武ノ内啓次郎 柴田 昌男
- 原 正義 湯本 令二
- 梶 勲 矢口甲子夫
- 樋口 文吉 桑名梅佐久
- 島村 福蔵 吉田武三郎

特別区に「市」並みの権限と財源を

大会で住民代表も意見発表

今年の「特別区自治権・財政権拡充大会」は、二十三特別区議会の主催により、来る十月二十三日午後一時から、九段会館で開かれます。

二十三区の区長は公選制が実現し、都からも事務事業の移管が行われて、特別区も形の上ではやっとなり「市」並みとなりました。しかし、裏付けとなる財源については、固定資産税、法人住民税などを都が徴収し、都区財政調整制度によって都区間で配分する仕組みになっているため、独自の財源は特別区民税などわずかしかなかった。

また、学校建設などに伴う国の補助額も低いために、超過負担の問題も依然として起きています。

こうした特別区の共通の悩みを解決し、地域の実態に合ったきめ細かい住民サービスを行っていくためには、現在の行財政制度を改正する必要があります。

型店舗進出計画の中止を

(理由) 大型店舗進出計画の中止申入れは、大店法の趣旨から願意にそうすることは困難である。しかしながら、区としても地元商店の振興策を含めて、共存共栄が図られるよう話し合いのあつ旋に努力される。

◇国民健康保険料値上げ反対に関する請願

(理由) 趣旨にそうことは困難である。

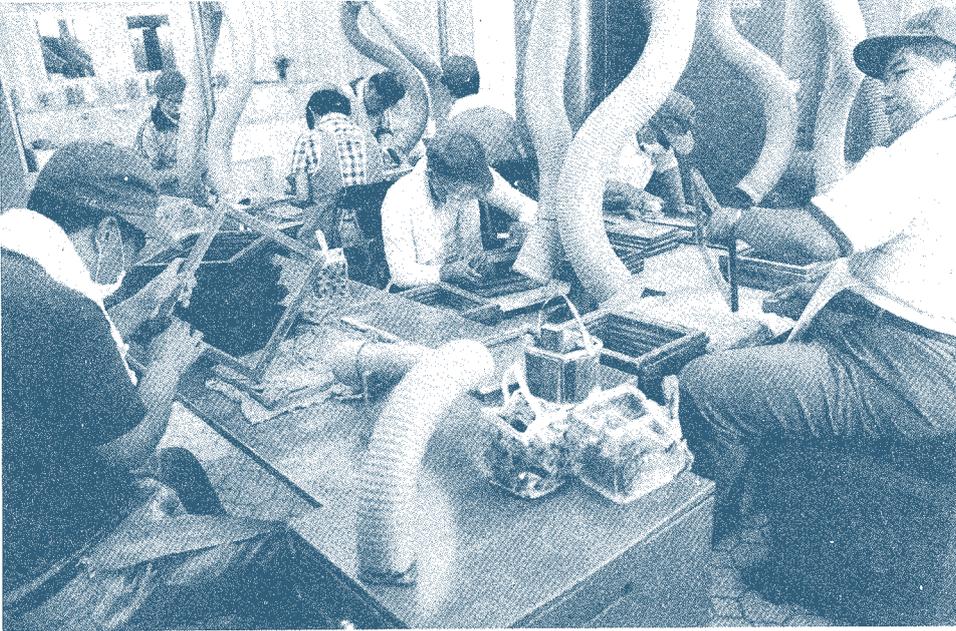
第三回定例会

会議開会状況

第3回定例会中に開かれた会議は次のとおりです。

9 月	開会	閉会
18日	議員 議員	議員 議員
22日	建設 委員	建設 委員
24日	厚生文教 委員	厚生文教 委員
25日	区民衛生 委員	区民衛生 委員
28日	総務 委員	総務 委員
30日	運営 委員	運営 委員
	区議会だより 編集 委員	区議会だより 編集 委員
	本 会	本 会
	決算特別 委員	決算特別 委員

墨田福祉作業所(心身障害者通所施設)で研磨作業に汗を流す人々



一般質問

行政改革に論議が集中

行革は区が先取りで実施 区長答弁

行政改革に対する区長の考え方は

自由民主党

問 国民の生活を守る為に、増税なき行政の再建、つまり行政改革は、重要な政治課題である。

答 国、地方ともに財政は窮乏し、今後は従来のような税収の大幅な伸びは望めない。しかし行政需要は、ますます複雑多岐になってきている。

問 行政の総見直し、行政改革に対する区長の基本的な考え方をうかがいたい。

隅田川のぼり

御殿の渡し

隅田川には古くから各地に渡船場があった、「枕橋の渡し」や「寺島の渡し」などそれぞれ土地の名にちなんだ趣きのある名で呼ばれ、人々に親しまれていました。

そのうちの二つに、今の本所一丁目の川岸と対岸の台東区蔵前二丁目との間を結ぶ「御殿(おんまや)の渡し」と呼ばれた渡しがありました。

江戸時代、台東区側の船着場の近くに幕府の厩(うまや)があったことから、俗に御殿河岸(おんまいがし)の渡しとも呼ばれていました。

この渡しは、今から二百九十年ほど前にさかのぼります。

を本部長とする「事務事業見直し推進本部」を発足させ、そのもとに、各部選出の職員で構成する「検討委員会」を設置して職員参加による事務事業の見直しを進めているようだが、内部職員の検討では、旧来の慣例等から脱しきれず、新しい発想も出にくいのではないかと。

国の行政改革と区行政の関連は

公明党

問 政府は臨調の一次答申に基づいて、いわゆる行革大綱を決定したが、財政再建のための歳出カットに主な視点が置かれている。補助金等の整理合理化、一部の公的保険事務費負担増、児童手当の公費負担削減など、社会的に弱い立場の人達への影響が心配される。

答 国は臨調の一次答申に基づいて、いわゆる行革大綱を決定したが、財政再建のための歳出カットに主な視点が置かれている。補助金等の整理合理化、一部の公的保険事務費負担増、児童手当の公費負担削減など、社会的に弱い立場の人達への影響が心配される。

問 政府は臨調の一次答申に基づいて、いわゆる行革大綱を決定したが、財政再建のための歳出カットに主な視点が置かれている。補助金等の整理合理化、一部の公的保険事務費負担増、児童手当の公費負担削減など、社会的に弱い立場の人達への影響が心配される。

問 政府は臨調の一次答申に基づいて、いわゆる行革大綱を決定したが、財政再建のための歳出カットに主な視点が置かれている。補助金等の整理合理化、一部の公的保険事務費負担増、児童手当の公費負担削減など、社会的に弱い立場の人達への影響が心配される。

問 政府は臨調の一次答申に基づいて、いわゆる行革大綱を決定したが、財政再建のための歳出カットに主な視点が置かれている。補助金等の整理合理化、一部の公的保険事務費負担増、児童手当の公費負担削減など、社会的に弱い立場の人達への影響が心配される。

問 政府は臨調の一次答申に基づいて、いわゆる行革大綱を決定したが、財政再建のための歳出カットに主な視点が置かれている。補助金等の整理合理化、一部の公的保険事務費負担増、児童手当の公費負担削減など、社会的に弱い立場の人達への影響が心配される。

経費を削ったり、国の財政赤字を地方に転嫁することは甘受できない。都知事も、新聞紙上で福祉の後退はさせないと表明しているのを期待している。

区民と区財政に影響する

臨調答申に反対を

日本共産党

問 行政改革という言葉に国民が期待したのは、行政のあらゆる分野から無駄と浪費をなくし、利権と腐敗の根を断って、清潔で効率的な簡素な行政機構と運営を確立することだが、第二臨調答申はその期待を裏切り、軍拡推進、福祉、教育の切り捨て、地方財政に肩代りを求めている。

身体障害者の雇用率向上を

新自由クラブ

問 行政改革という言葉に国民が期待したのは、行政のあらゆる分野から無駄と浪費をなくし、利権と腐敗の根を断って、清潔で効率的な簡素な行政機構と運営を確立することだが、第二臨調答申はその期待を裏切り、軍拡推進、福祉、教育の切り捨て、地方財政に肩代りを求めている。

問 行政改革という言葉に国民が期待したのは、行政のあらゆる分野から無駄と浪費をなくし、利権と腐敗の根を断って、清潔で効率的な簡素な行政機構と運営を確立することだが、第二臨調答申はその期待を裏切り、軍拡推進、福祉、教育の切り捨て、地方財政に肩代りを求めている。

問 行政改革という言葉に国民が期待したのは、行政のあらゆる分野から無駄と浪費をなくし、利権と腐敗の根を断って、清潔で効率的な簡素な行政機構と運営を確立することだが、第二臨調答申はその期待を裏切り、軍拡推進、福祉、教育の切り捨て、地方財政に肩代りを求めている。

問 行政改革という言葉に国民が期待したのは、行政のあらゆる分野から無駄と浪費をなくし、利権と腐敗の根を断って、清潔で効率的な簡素な行政機構と運営を確立することだが、第二臨調答申はその期待を裏切り、軍拡推進、福祉、教育の切り捨て、地方財政に肩代りを求めている。

問 行政改革という言葉に国民が期待したのは、行政のあらゆる分野から無駄と浪費をなくし、利権と腐敗の根を断って、清潔で効率的な簡素な行政機構と運営を確立することだが、第二臨調答申はその期待を裏切り、軍拡推進、福祉、教育の切り捨て、地方財政に肩代りを求めている。

区議会を

傍聴しましょう

隅田川区議会定例会は、年四回開くことになっていて、本年最後の定例会は十一月に開く予定になっていきます。

みなさんが選んだ議員の活動状況を知らせていただき、また、区政に対する理解を深めていただくために、本会議、常任委員会、特別委員会とも公開していきますので、どなたでも傍聴できます。

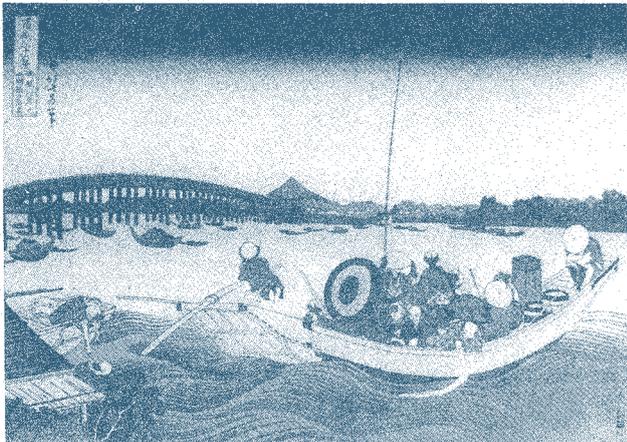
また、本会議の開会時間は、当日の運営委員会で決まりますから、お出でになるときは、区議会事務局へお問い合わせ下さい。



あまがま

最近、区内の河川には土曜・日曜になると釣竿の列ができるようになります。お目当ては、川の浄化とともに戻ってきたボラやハゼ。家のすぐ近くで釣れるとあって小さな太公望も大人に負けじと釣糸をたれていきます。でも、気をつけて下さい。川に落ちたら、高い護岸は簡単にはい上れません。釣は、別の安全な所で楽しみましょう。

区議会事務局 調査係 ☎6-1315-1内線245



北斎が描いた御殿の渡し。遠くには、富士山や兩國橋も描かれています。

請願・陳情の提出はお早めに

区議会は、区民のみならずの区政に対する要望を、請願や陳情の形で受け付けています。しかし、議会の定例会が始まる前から受け付けたものについてはその会議の中で審査することができないため、次回の会議へ回すことになってしまいます。請願や陳情を提出される場合は、要望する内容を簡潔な文書にまとめていただき、区議会が開会される前に、早めに提出して下さるようお願いいたします。